



神谷小中学校 令和2・3年度 いの町教育委員会研究事業指定発表会 part1

11月19日(金)に、神谷小中学校にていの町教育委員会指定発表会が開催されました。町内から63名の参加がありました。発表会の内容について、4回に渡ってご紹介します。



公開授業 第1・2学年 道徳科「のびのびとせいかつするために」A-(2) 正直・誠実

本時では、「うそやごまかしがばれると怒られるから」といった受け身の動機ではなく、正直でいることの良さに目を向けさせ、正直でいることの難しさや大切さについても感じ取らせることをねらいとしていました。

授業において、「もう一度とんでみるね」の後に「わたし」が「だってー」と続けるとしたら、「わたし」は何と言ったと思うかを書かせることで、主人公の心の内を自分事としてとらえさせていました。(揺さぶり)その後、児童一人一人がペアになって役割演技を行いました。児童たちは積極的に役割演技を行い、友達の演技(理由・気持ち等)も集中して見聞きし、「わたし」の気持ちを考えることができていました。先生がほめる場面も多々あり、意欲的に取り組んでいました。最後に、担任の小学生時代の体験したことについて話をしました。



授業の講評

子どもに「だって…」と理由を言わせていました。対話をさせるなら○か×、AかBかというように、意見を分裂させる方法と、揺さぶりをかける方法があります。「だって」と言わせたことで、先生は子どもを揺さぶっていました。出てきた意見を「そうだそうだ」とまとめるのではないところが良かったです。

菊池省三先生



1年生は一人でしたが、教員との信頼関係がありました。2年生になると、子ども同士の信頼感もできてきました。その信頼感を基礎に、子ども同士の関わりができてくると思いました。役割演技もあるということだったので、先生主導だけでなく子ども同士を動かす展開があったかと思います。菊池実践を考えたら自由起立でどんどん話してごらん、ということもできると思います。

是永かな子先生



